

# 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成27年度～令和元年度)

平成30年度 進捗状況

【目指すまちづくりのイメージ】

市民がいきいきとした“プチ田舎”なまちづくり

令和元年9月

小 平 市



# 目次

1	小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧表	1
	基本目標1 「住みたいまちの空間をつくる」	1
	①農のあるまちづくりの推進	
	②ゆったりとした快適なまちづくりの推進	
	③ “住んでみたい” まちづくりと魅力の情報発信	
	基本目標2 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	6
	①結婚の希望をかなえる	
	②妊娠・出産期からの支援体制の充実	
	③子育て支援サービス・保育環境の充実	
	④子育てにおける多様な支援の充実	
	基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」	9
	①市内における“しごと”をつくる	
	②大学との連携を推進する	
	③地域における“担い手”をつくる	
2	小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI 進捗状況	15

# 1 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧表

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成30年度までの実施等状況
基本目標1「住み続けたいまちの空間をつくる」					
① 農のあるまちづくりの推進					
1	市内農家の収入増に向けた取組の支援	営農意欲ある経営体として認定農業者を拡充し、国や東京都の補助も活用しながら、農業経営基盤の強化を図り、農業収入の増大に向けた支援をしていきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の更新や新規認定の呼びかけを行い、25経営体が認定を受けました。</li> <li>経営基盤強化の補助を行う、地域農業担い手支援事業を実施し、31経営体が事業を活用して農業経営の促進を図りました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の更新や新規認定の呼びかけを行い、15経営体が認定を受けました。</li> <li>経営基盤強化の補助を行う、地域農業担い手支援事業を実施し、29経営体が事業を活用して農業経営の促進を図りました。</li> </ul>
2	農にふれあえる場の提供	市民が農にふれあえる場として、体験農園や収穫体験のできる農園の拡充に取り組むとともに、直売所や特産品などの情報の発信を行ってまいります。	産業振興課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験農園や収穫体験のできる農園、直売所や特産品などを市報やマップで情報発信を行いました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験農園や収穫体験のできる農園、直売所や特産品などを市報やマップで情報発信を行いました。</li> </ul>
3	地産地消の促進	平成28年秋にオープンする東京むさし農業協同組合の直売所のリニューアルの支援を行い、ジャムやワインなど農産加工品や飲食店、学校給食等への地場産農産物の利用の促進など地産地消の拡大を図ります。	産業振興課 (学務課)	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食等への地場産農産物の利用の促進に対し、補助金を交付しました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食等への地場産農産物の利用の促進に対し、補助金を交付しました。</li> </ul>
4	市民による農家支援	後継者不足や高齢化に伴う人手不足を解消するため、農業に関心を持つ市民が農家の担い手となった援農ボランティア等の市民活動の支援をします。 また、環境学習としてのエコツアーリズム等の実施により、援農ボランティアでは対応しきれない農作業を行うことにより農家を支援していきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市報で援農ボランティアの募集を行い、講座、実技を修了し、援農ボランティアとして4人が認定されました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市報で援農ボランティアの募集を行い、講座、実技を修了し、援農ボランティアとして11人が認定されました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
<b>② ゆったりとした快適なまちづくりの推進</b>					
1	用水路の親水整備	「水が見えて、水に近づき、水で楽しむ」ことができる用水路の整備を行い、人に「やすらぎ」や「うるおい」を与える空間をつくりまします。	水と緑と公園課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 20 年度から平成 28 年度にかけて親水整備を実施した 6 箇所の愛称を決め、看板を設置しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新堀用水のり面（胎内掘）保全工事を実施しました（胎内掘、坑口部（延長：約 40m））。なお、用水路に生息する小生物等の生態系に配慮し、止水を伴わない施工方法を検討、実施しました。</li> </ul>
2	小平グリーンロードを活用したイベントの実施	小平グリーンロードを活用したイベント（花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭）を実施します。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭を実施しました。来場者はそれぞれ 2,000 人、47,500 人、1,000 人でした。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭を実施しました。来場者はそれぞれ 2,100 人、59,600 人、3,000 人でした。</li> </ul>
3	食を通じたイベントの実施	ブルーベリーなどの食を通じたイベントの支援や、グルメ店の PR を通じて、食のブランド化に取り組みます。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食を通じたイベント 6 件に対し支援しました。</li> <li>イベントの延べ来場者数は 15,147 人でした。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食を通じたイベント 5 件に対し支援しました。</li> <li>イベントの延べ来場者数は 15,038 人でした。</li> </ul>
4	こだいらオープンガーデンの支援	個人の庭を一般に公開し、訪れた人が季節の植物を楽しみ、交流を深め、自然とうるおいのあるまちになることを目指すオープンガーデンについて、その発展に向けて働きかけを行うとともに、周知をしていきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンガーデンオーナーに対してオーナー交流会を実施しました。</li> <li>オープンガーデンマップの配布に加え、市や小平市グリーンロード推進協議会のホームページにて、周知を行いました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しいオープンガーデンマップを作成しました。</li> <li>オープンガーデンマップの配布に加え、市、小平市グリーンロード推進協議会及びこだいら観光まちづくり協会のホームページにて、周知を行いました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
③ “住んでみたい” まちづくりと魅力の情報発信					
1	小川駅西口、小平駅北口再開発事業の推進	現在、権利者を中心に検討が進められている小川駅西口地区再開発事業、小平駅北口地区再開発事業を、関係者との合意形成を経て着実に進め、駅周辺の賑わいの創出と魅力の向上を図ります。	地域整備支援課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <p>《小川駅西口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再開発準備組合に対し活動費の補助や、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた取組み等に対する助言や協力などの支援を行ったほか、近隣住民等を対象とした「小川駅西口地区まちづくりルール意見交換会」を行うなど、都市計画決定に向けた取組みを進めました。また、小川駅東西自由通路整備について関係機関との調整等を行いました。</li> </ul> <p>《小平駅北口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再開発準備組合に対し活動費の補助のほか、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた取組み等に対する助言や協力などの支援を行いました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <p>《小川駅西口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再開発準備組合に対し活動費の補助や、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた取組み等に対する助言や協力などの支援を行ったほか、平成 29 年度に引き続き都市計画決定に向けた取組みを進め、8 月に都市計画決定をしました。また、小川駅東西自由通路整備について関係機関との調整等を継続して行いました。</li> </ul> <p>《小平駅北口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再開発準備組合に対し活動費の補助のほか、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた取組み等に対する助言や協力などの支援を行いました。</li> </ul>
2	住みたくなるまちの魅力を発信	<p>設立を目指している「(仮称) 小平観光まちづくり連絡会」の支援などを通じて、観光まちづくりに関する情報など、住みたくなるまちの魅力を発信していきます。</p> <p>また、市民の誰もが参加でき意見交換できる「プチ田舎会議」を開催し、市民の観光まちづくりへの関心を高めると同時に、観光まちづくりを支えるボランティア「観光まちづくりサポーター」を設置し、観光まちづくりへ参加する市民の広がりを促進します。</p> <p>なお、平成 27 年度につきましては、人口の転出入の割合が高い西武鉄道の車両におけるラッピングトレインを走らせる取組などを通じ、小平市の PR を行います。</p>	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいら観光まちづくり協会において、観光総合ガイドブックの vol.2 を作成しました。また、観光ポータルサイトにおいても、全 3 回の市民レポーター養成講座を実施し、12 人の参加がありました。</li> <li>プチ田舎会議は 2 回開催し、小平市の野菜、果物を使った特産品の開発について話し合いを行いました。</li> <li>観光まちづくりサポーターについては、現在 2 人の登録があります。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいら観光まちづくり協会において、観光総合ガイドブックの vol.3 を作成しました。</li> <li>プチ田舎会議を 2 回開催し、文化学園大学、小平市観光農業協会、こだいら観光まちづくり協会が協力して、小平市の野菜と果物を販売するクリスマスマルシェを企画しました。</li> <li>観光まちづくりサポーターについては、現在 2 人の登録があります。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
3	文化施策の推進と文化財等のPR	小平市民文化会館、平櫛田中彫刻美術館、小平ふるさと村などの運営を通じて市の文化振興に努めます。また、鈴木遺跡の国指定史跡化を推進するなど、地域の文化財や歴史に対する関心を深めることを目指します。 また、平成 27 年度につきましては、鈴木遺跡の文化財等について広く知っていただくため、市ホームページの充実、文化財マップの作成、最寄駅から鈴木遺跡の文化財等への文化財案内看板等のサインの見直しを行います。	文化スポーツ課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平櫛田中彫刻美術館では、武蔵野美術大学・小平市文化振興財団との連携による木彫ワークショップ及び彫刻展覧会を開催しました。また美術館の英文パンフレットのリニューアルを行いました。</li> <li>市民文化会館では、鑑賞系事業 35 公演、啓発系事業 10 公演、育成系事業 4 事業、支援系事業 4 公演などを実施しました。ふるさと村では、郷土の歴史的文化継承事業 33 事業、地域の振興に関する事業 12 事業を実施しました。</li> <li>前年度に引き続き、鈴木遺跡国指定史跡化推進事業の一環として、文化財特別展「鈴木遺跡出土の黒曜石と礫群」、文化財講座「ナイフ形石器を作ろう!」、文化財ギャラリートーク、文化財めぐり「こだいらの遺跡をあるく」等のイベントを開催したほか、平成 27 年度に市史跡に指定した「高橋定右衛門墓」の説明板を設置しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平櫛田中彫刻美術館では、全国から作品を集めた特別展の開催、武蔵野美術大学・小平市文化振興財団との連携による木彫ワークショップ及び彫刻展覧会を開催しました。ホームページのリニューアルによって美術館情報の多言語対応を行いました。</li> <li>市民文化会館では、鑑賞系事業 36 公演、啓発系事業 10 公演、育成系事業 4 事業、支援系事業 4 公演などを実施しました。ふるさと村では、郷土の歴史的文化継承事業 33 事業、地域の振興に関する事業 11 事業を実施しました。</li> <li>前年度に引き続き、鈴木遺跡国指定史跡化推進事業の一環として、文化財特別展「鈴木遺跡と江戸東京」、文化財ギャラリートーク、「こだいらの遺跡をあるく」等のイベントを開催したほか、平成 29 年度に市史跡に指定した「熊野宮のケヤキ」、「鈴木稻荷神社のケヤキ」の案内標柱を設置しました。</li> </ul>
4	いつまでも住み続けられる健康まちづくりの推進	いつまでも健康で住み続けられるまちを目指して、“歩くまち小平”としてのモデルコースの設定など、楽しみながら健康づくりができる取組を推進します。	産業振興課 文化スポーツ課 健康推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいら観光まちづくり協会にて、観光総合ガイドブックや観光ポータルサイトで引き続きモデルコースを掲載しました。また、まち歩きガイド養成講座を実施し、10 人のまち歩きガイドが新たに認定されました。地図をもとに市内の丸ポストを巡る「丸ポストロゲイニング」や、一般市民参加型の「まち歩き」も 5 回実施しました。</li> <li>こだいら観光まちづくり協会と協力し、「小平市ウォーキングマップ」を作成しました。市のホームページに掲載したり公共施設等で配布したほか、歩く事業で活用しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいら観光まちづくり協会にて、観光総合ガイドブックや観光ポータルサイトで引き続きモデルコースを掲載しました。また、まち歩きガイド養成講座を実施し、7 人のまち歩きガイドが新たに認定されました。地図をもとに市内の丸ポストを巡る「丸ポストロゲイニング」や、一般市民参加型の「まち歩き」も 29 回実施しました。</li> <li>ウォーキングマップの活用事業として、歩数計を貸し出し日々の健康づくりに取り組む「こだいら健康ポイント事業」を実施し、市民 213 人が参加しました。ウォーキングコースの周辺に健康ポイントの拠点を設け、ウォーキングマップの活用を図りました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
5	若い世代の定住の促進	若い世代の人々が住みたいとなるような、住環境の整備に取り組みます。	都市計画課 (地域整備支援課、水と緑と公園課)	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年 11 月、鎌倉公園の整備に向けて、アンケート調査を実施し、平成 30 年 3 月に調査結果をまとめた報告書を作成し、公表しました。</li> <li>魅力あるまちづくりに向けて、小川駅西口地区では、都市計画決定に向けた「小川駅西口地区まちづくりルール意見交換会」を開催したほか、準備組合主催の「再開発計画周辺説明会」に参加するなど近隣住民の意見を伺いながら、準備組合と連携して事業計画案を検討しました。また、小平駅北口地区でも、準備組合主催の会議や事業に関する勉強会に参加するなどして、権利者の意見を伺いながら準備組合と連携して事業計画案を検討しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉公園整備の今後の取組について検討を行いました。</li> <li>魅力あるまちづくりに向けて、小川駅西口地区では、都市計画決定に向けた取組を進め、8 月に都市計画決定をしました。都市計画決定後は、組合設立認可に向け、準備組合と連携して事業計画案を検討しました。また、小平駅北口地区でも、準備組合主催の会議や事業に関する勉強会に参加するなど、権利者の意見を伺いながら準備組合と連携して事業計画案を検討しました。</li> </ul>
6	ジュニア世代のスポーツ競技力の向上	子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るとともに、指導者の育成を図るため、小中学生を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツ振興を推進します。	スポーツ振興担当	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るため、小・中学生を対象として「トップアスリートによるランニング教室」(講師：東京経済大学陸上部コーチ)を開催しました。</li> <li>小平市内の中学校の卓球部で活動している生徒及び小平市卓球連盟主催の卓球教室に参加している小学生を対象に、講師として、日本卓球リーグ男子 1 部に所属しているシチズン時計株式会社卓球部をお招きし、競技力向上を目的とした講習会を開催しました。</li> <li>小平市内で活動している少年野球チームに所属する小学 3～6 年生及び指導者を対象として、講師に元プロ野球選手をお招きし、野球教室を開催しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るため、小・中学生を対象として、「トップアスリートによるランニング教室」(講師：東京経済大学陸上部コーチ)を開催しました。</li> <li>小平市内の中学校のサッカー部で活動している生徒を対象として、サッカー J 1 に所属している FC 東京のコーチを講師に、市内の FC 東京大沼グラウンドにて、競技力向上を目的とした講習会を開催しました。</li> <li>小平市内で活動している少年野球チームに所属する小学 3～6 年生及び指導者を対象として、講師に元プロ野球選手を招き、野球教室を開催しました。</li> </ul>
7	通学における児童・生徒の安全確保	子どもたちが安全で安心して学校に通えるよう、通学路の安全点検を行い、危険個所の把握に努めています。また、人の目が行き届きにくい場所や時間帯において見守り活動を補完するため、市内小学校の通学路に防犯カメラを設置します。	学務課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 5 校(小平第一小学校、小平第二小学校、小平第四小学校、小平第六小学校、小平第十一小学校)の通学路に計 25 台の防犯カメラを設置しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 5 校(小平第三小学校、小平第九小学校、小平第十四小学校、小平第十五小学校、鈴木小学校)の通学路に計 21 台の防犯カメラを設置しました。</li> </ul>



施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
基本目標 2 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」					
① 結婚の希望をかなえる					
1	出会いの創出による交流をつくる	結婚をしない理由の 1 つとして、「出会い」の機会が少ないという傾向が見受けられ、また、理想の子どもの数をもてない理由としては「年齢や健康上の理由」が要因の 1 つとなっているものと推察されます。市内の企業などに働きかけを行い、若い世代の方に出会いの場の創出へ参加していただき、市内における交流人口の増加や定住のきっかけづくりを行います。	政策課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績なし（前年度事業の検証を踏まえ、平成 30 年度の実施手法の検討を行いました。）</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の補助により、こだいら観光まちづくり協会が出会いの創出事業として、市内商店街において「こだいらの魅力を発見する相席ツアー」を開催し、44 人の参加がありました。</li> </ul>
② 妊娠・出産期からの支援体制の充実					
1	子育てに関する総合的な支援体制の整備	妊娠期から子育て期までの様々なニーズを把握し、総合的に情報提供や相談を行うことができる機能（（仮称）子育て世代包括支援センター）を整備し、よりきめ細やかな支援を行うことで、子育てに対する不安の軽減を図ります。	健康推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（仮称）子育て世代包括支援センターの前身となるゆりかご・こだいら事業を立ち上げ、妊娠期からの切れ目ない支援を行うため、妊娠届出を提出した全妊婦に対するマタニティサポート面談や、子育てに不安になっている方に対して産前産後サポート事業を実施することで、子育てに対する不安軽減を図りました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆりかご・こだいら事業を継続することで、妊娠期からの切れ目ない支援を行い、妊娠届出を提出した全妊婦に対するマタニティサポート面談や、子育てに不安になっている方に対して産前産後サポート事業を実施することで、子育てに対する不安軽減を図りました。又、関係機関との連絡会として、主任児童委員との連絡会等を実施しました。</li> </ul>
2	妊婦健康診査の充実	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、すべての妊婦が健康診査を受診できるように支援を行い、安心して妊娠・出産できる環境を整えとともに、妊娠期からの一貫した健康管理を推進します。	健康推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠届出を提出した全妊婦を対象に保健師、助産師が面談を行い、妊婦健康診査の受診や必要性について伝えることで、健康管理に関する意識を高めることを推進しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠届出を提出した全妊婦を対象に保健師、助産師が面談を行い、妊婦健康診査の受診や必要性について伝えることで、健康管理に関する意識を高めることを推進しました。</li> </ul>
3	ハローベビークラス事業の充実	妊娠 5～8 か月の妊婦及びその家族を対象として、妊娠・出産・育児に関する知識・技術の習得を行います。	健康推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平日クラス（2 コース）を延べ 16 回、土曜日クラスを 13 回、開催しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平日クラスを 16 回、土曜日クラスを 12 回、開催しました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
4	乳児家庭全戸訪問の充実	生後 4 か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行うとともに、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供につなげます。	健康推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1,444 件 (97.6%) の訪問を実施しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1,665 件 (97.9%) の訪問を実施しました。</li> </ul>
5	養育支援訪問の充実	乳児家庭全戸訪問などにより把握した養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言などを行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保します。	家庭支援担当 健康推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 234 件の訪問を実施しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 153 件の訪問を実施しました。</li> </ul>
<b>③ 子育て支援サービス・保育環境の充実</b>					
1	保育環境の充実	待機児童対策として、計画的に私立認可保育園等の誘致・整備を行い、定員拡大に取り組むとともに、認証保育所、家庭的保育事業など、多様な手法により、保育環境の充実を図ります。	保育課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立認可保育園 7 園及び小規模保育事業 1 事業所を開設するなど、定員を 504 人拡大しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模保育事業 1 事業所を開設するなど、定員を 66 人拡大しました。</li> </ul>
2	子育てふれあい広場事業の充実	地域における子育て支援の拠点として、地域センターなどの身近な場所で、子育てについての不安や悩みの相談、同じ不安等を持つ保護者の交流を通して、乳幼児の健全な育成を図ります。 また、平成 27 年度につきましては、公立保育園における玩具、書籍等の購入、新築した小川西保育園の地域交流室における備品の購入などを行い、地域における子育て支援の拠点としての環境の充実を図ります。	子育て支援課 (保育課)	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てふれあい広場利用者数（保育園含む）は、以下のとおりでした。 利用者数 10,656 人 相談件数 1,423 件</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てふれあい広場利用者数（保育園含む）は、以下のとおりでした。 利用者数 11,133 人 相談件数 1,621 件</li> </ul>
3	一時預かり事業の充実	幼稚園における在園児の預かり保育や、緊急・一時的に保育が必要な子どもの保育園での預かり保育などを行います。	保育課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定こども園及び幼稚園の全 15 園で一時預かり保育を実施するとともに、保育園での一時預かりを 10 園で実施しました。</li> <li>・ 市立保育園全 9 園において緊急一時保育を実施しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定こども園及び幼稚園の全 15 園で一時預かり保育を実施するとともに、保育園での一時預かりを 10 園で実施しました。</li> <li>・ 市立保育園全 9 園において緊急一時保育を実施しました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成30年度までの実施等状況
4	学童クラブ事業の充実	就労などの理由により、保護者が昼間いない小学生に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図ります。	子育て支援課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四小学童クラブ第二（定員30人）及び十小学童クラブ第三（定員40人）を新規開設しました。</li> <li>・平成30年度新設1クラブ及び4クラス、平成31年度新設の3クラブの開設準備を行いました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上宿小学童クラブ第二（定員60人）及び4クラスを新規開設しました。</li> <li>・平成31年度新設の3クラブ及び1クラスの開設準備を行いました。</li> </ul>
5	児童館運営事業の充実	健全な遊びを通じて、児童の健全な成長及び豊かな情操を養い、児童の健全な育成を図ります。また、平成27年度につきましては、花小金井南児童館及び小川町二丁目児童館に、児童に人気の高いクライミング・ウォールを設置し、子どもが安心して楽しく遊べる場の充実に努めます。	子育て支援課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館利用者 124,777人</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館利用者 130,870人</li> </ul>
<b>④ 子育てにおける多様な支援の充実</b>					
1	子育てに関する情報発信の推進	現在、市が発行している「子育てガイド」に加え、市民活動団体などが発信している子育てに関する情報について、インターネットを介して一元化して情報を提供する仕組みを構築します。	政策課 (子育て支援課、家庭支援担当、保育課、健康推進課)	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育てガイド」を発行しました。</li> <li>・子育て応援サイト「こだち」の管理運営団体へ補助金を交付しました。サイトへのアクセス件数は、84,378件でした。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育てガイド」を発行しました。</li> <li>・子育て応援サイト「こだち」の管理運営団体へ補助金を交付しました。サイトへのアクセス件数は、118,089件でした。</li> </ul>
2	地域における子育て活動への支援	市内のNPOやボランティア団体などが行う、子育てに関する優れた取組を支援します。	市民協働・男女参画推進課 (各課)	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動支援公募事業として「こだいら子ども子育てフェスティバル「ここフェス！」事業」、「小平西地区における学生主体のあそぼうかい&amp;世代間交流」事業等に補助金を交付し、事業を実施しました。</li> <li>・いきいき協働提案事業にて、障がい者支援課と協働で「ペアレントプログラム事業」を実施しました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動支援公募事業（学生団体コース）として、地域で子育て支援に取り組む学生団体3団体に補助金を交付し、事業を実施しました。</li> <li>・いきいき協働提案事業にて、障がい者支援課と協働で「ペアレントプログラム及びペアレントメンター実施事業」を実施しました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
3	ファミリー・サポート・センター事業の推進	市内居住の、生後 57 日から小学 6 年生までの子どもの保護者で育児の援助を受けたい人（利用会員）と、育児の援助を行いたい人（提供会員）を結び、地域の子育てを支援します。	家庭支援担当	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用件数 6,472 件</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用件数 5,999 件</li> </ul>
基本目標 3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」					
① 市内における“しごと”をつくる					
1	創業に対する支援	小平市は、産業競争力強化法に基づく「創業支援計画」を策定し、平成 26 年 10 月に国の認定を受けました。金融機関のノウハウも活用し、個別相談、創業セミナー、創業塾の開催など女性のニーズも高まっている創業のための支援を拡充します。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業資金融資あっせん制度を実施しました。12 人が利用しました。</li> <li>チャレンジショップ事業を実施しました。5 人が利用しました。</li> <li>創業個別相談窓口を開催しました。24 人が参加しました。</li> <li>創業セミナーを開催しました。計 2 回開催し、23 人が参加しました。</li> <li>創業塾を開催しました。年 2 回開催し、19 人が参加しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業資金融資あっせん制度を実施しました。7 人が利用しました。</li> <li>チャレンジショップ事業を実施しました。4 人が利用しました。</li> <li>創業個別相談窓口を開催しました。23 人が参加しました。</li> <li>創業セミナーを開催しました。計 2 回開催し、13 人が参加しました。</li> <li>創業塾を開催しました。年 2 回開催し、23 人が参加しました。</li> </ul>
2	商店会の賑わいや中小企業等が取り組む商品開発等に対する支援	商店会に新規出店する際の支援や、意欲ある中小企業等が取り組む商品開発の支援を拡充することで、商店会の賑わいや中小企業の振興を図ります。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業・事業資金融資あっせん制度、店舗改修等補助事業及びチャレンジ企業応援事業により支援を実施しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業・事業資金融資あっせん制度、店舗改修等補助事業及びチャレンジ企業応援事業により支援を実施しました。</li> </ul>
3	コミュニティビジネスの支援	高齢化の進展などに伴う地域の課題の解決のため、今後もコミュニティビジネス（CB）の重要性が高まることが予想されます。①ー1の創業に対する支援に加え、小さくても地域に合った自立的な取組をする事業の積み上げを図ります。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいらコワーキングスペース「すだち」にて、コミュニティビジネスを含めた起業についての講座を開催しました。計 16 回開催し、延べ 102 人が参加しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいらコワーキングスペース「すだち」にて、コミュニティビジネスを含めた起業についての講座を開催しました。計 8 回開催し、延べ 36 人が参加しました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
4	子育て中の女性の就労促進	地域社会における女性の活躍に向けた取組として、子育て中の女性の就労を支援します。在宅ワークの支援を通じて地域における“しごと”をつくるとともに、地域における推進役としての人材の育成も目指します。	産業振興課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こいだいらコワーキングスペース「すだち」にて、ビジネススキル研修、就労プロデューサー育成研修を開催しました。計 22 回開催し、延べ 121 人が参加しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こいだいらコワーキングスペース「すだち」にて、ビジネススキル研修、就労プロデューサー育成研修を開催しました。計 15 回開催し、延べ 67 人が参加しました。</li> </ul>
5	市の産業振興の基礎となる基本計画の策定	市内の農業、商業、工業、観光の連携強化を図るため「(仮称) 産業振興基本計画」を策定します。なお、策定に当たっては金融機関や大学などとの連携を目指します。	産業振興課	実施済	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩信用金庫、首都大学東京及び小平市が連携して、「産業振興基本計画」及び「農業振興計画」を策定しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済</li> </ul>
6	ワーク・ライフ・バランスの啓発	仕事と生活の調和を目指し、子育てをしながら働く人を理解し、誰もが働きやすく、支え合える職場環境の形成が促進されるよう啓発に努めます。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画啓発の広報誌「ひらく」を発行(8,000 部)しました。</li> <li>・女と男のフォーラムを開催し、75 人(保育 11 人)が参加しました。</li> <li>・男女共同参画週間講演会を男女共同参画センター利用登録団体と共催で開催し、168 人(保育 8 人)が参加しました。</li> <li>・男女共同参画推進講座「就労支援」として男女共同参画センター利用登録団体と共催でワールドカフェ形式で 2 回開催し、延べ 22 人(保育 2 人)が参加しました。</li> <li>・マザーズハローワーク立川と共催で女性の就労支援講座を開催し、21 人(保育 15 人)が参加しました。</li> <li>・市内事業者の現状把握と女性活躍推進のため、市内事業者懇談会を開催し、9 社が参加しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画啓発の広報誌「ひらく」を発行(7,000 部)しました。</li> <li>・女と男のフォーラムを開催し、148 人(保育 11 人)が参加しました。</li> <li>・男女共同参画週間講演会を男女共同参画センター利用登録団体と共催で開催し、76 人(保育 15 人)が参加しました。</li> <li>・マザーズハローワーク立川と共催で女性の就労支援講座を開催し、18 人(保育 13 人)が参加しました。</li> <li>・市内事業者の現状把握と女性活躍推進のため、市内事業者懇談会を開催し、8 社が参加しました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成30年度までの実施等状況
<b>② 大学との連携を推進する</b>					
1	大学等との連携の推進	市内には大学が多く存在することから、これまでも大学連携事業～こだいらブルーベリーリーグ～などを通じて様々な連携を行ってきましたが、今後も、「(仮称)産業振興基本計画」の策定、文化プログラムの実施、地域づくりの推進など、より一層連携した取組を進めていきます。	市民協働・男女参画推進課 (産業振興課、文化スポーツ課)	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいらブルーベリーリーグにおいて連絡調整会を3回開催し、新たに職業能力開発総合大学校をメンバーに加え、大学との連携のあり方について協議を行ったほか、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を開催しました。</li> <li>地元企業のウィンドウディスプレイを、市内の大学が、小平市のコンセプトで展示を行う等、各課で大学と連携した取組をそれぞれ行いました。</li> <li>こだいらブルーベリーリーグ以外の大学としては、首都大学東京と連携し、「産業振興基本計画」及び「農業振興計画」を策定したほか、鈴木遺跡国指定史跡化推進事業として、東京学芸大学と共同研究を行いました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こだいらブルーベリーリーグにおいて連絡調整会を3回開催し、大学との連携のあり方について協議を行ったほか、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を開催しました。</li> <li>各大学の特色を生かした分野で連携を強化していけるよう武蔵野美術大学、津田塾大学、白梅学園大学と包括連携協定を締結しました。</li> <li>嘉悦大学や金融機関等の創業支援等事業者とともに、創業支援等事業計画の見直しを行い、国から変更の承認を受けました。</li> <li>平籾田中彫刻美術館、武蔵野美術大学、小平市文化振興財団の三者が連携して、若手作家の彫刻展覧会及び木彫ワークショップを開催しました。(文化プログラム参加事業)</li> </ul>
<b>③ 地域における“担い手”をつくる</b>					
1	小平市市民活動支援公募事業	市民活動団体、NPO、自治会等が自ら企画実施する公益的な事業を公募し、その事業経費の一部を市が補助することで、市と市民の協働の基盤づくりを推進します。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援団体が集まり子育ての一大イベントを行う等、子育てイベント、子ども向けワークショップ、少子高齢化対策講座、写真展等、計12事業に補助金を交付し、事業を実施しました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援公募事業(学生団体コース)として、学生が地域に積極的に地域に飛び出し、そこで教育資源を見出すような取組を実践している学生団体3団体に補助金を交付し、事業を実施しました。</li> </ul>
2	小平市いきいき協働事業	市民活動団体やNPO等からの協働による事業の提案を募集し、市民の視点から新しい事業の展開など地域の課題の解決などを推進します。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ノルディック・ウォーキング教室事業」(文化スポーツ課)、「災害時にも役立つ、自然エネルギーを活用したエコなライフスタイルの実践啓発事業」(環境政策課)、「ペアレント・プログラム事業」(障がい者支援課)をそれぞれ協働で実施しました。</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ペアレントプログラム及びペアレントメンター事業」(障がい者支援課)、「小平らしい生き物の調査事業」(環境政策課・水と緑と公園課)をそれぞれ協働で実施しました。</li> </ul>

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
3	災害時に強い市民の育成	自助・共助の能力を高めるため、自主防災組織の増加を目指します。 また、災害時に迅速かつ円滑な対応が行えるよう、避難所（小・中学校等）ごとに、避難所管理運営マニュアルを作成できるよう支援します。	防災危機管理課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織…新たに 3 組織が結成され、合計 66 組織になりました。</li> <li>・避難所管理運営マニュアル…新たに 1 地区作成され、合計 6 地区になりました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織…新たに 4 組織が結成され、合計 70 組織になりました。</li> <li>・避難所管理運営マニュアル…新たに 2 地区作成され、合計 8 地区になりました。</li> </ul>
4	公園等管理におけるアダプト制度の導入	公園等の清掃、ベンチや遊具の塗装、低木の剪定、花壇設計など、市民が自主管理に取り組むアダプト制度を導入します。	水と緑と公園課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あじさい公園、津田第 3 公園及びびくぬ木公園でアダプト制度を導入しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山王北公園、かしの実公園及び中央公園でアダプト制度を導入しました。</li> </ul>
5	介護予防見守りボランティアコーディネーターの配置	高齢化に伴って一人暮らしの高齢者などが増加することが予想されることから、各地域包括支援センターに介護予防見守りボランティアコーディネーターを配置し、地域住民による見守り体制を構築します。	地域包括ケア推進担当	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4 つの各地域包括支援センターへのコーディネーター配置（4 人）を継続しました。登録研修 2 回実施。年度末登録者数 332 人。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4 つの各地域包括支援センターへのコーディネーター配置（4 人）を継続しました。登録研修 2 回実施。年度末登録者数 374 人。</li> </ul>
6	スポーツボランティアの育成	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、スポーツ振興の担い手となるスポーツボランティアの育成を図ります。	スポーツ振興担当	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、障がい者スポーツを含めたスポーツを支える人材を発掘・育成するために、引き続き、日本スポーツボランティアネットワークと連携した研修会を開催するとともに、東京都主催のパラリンピック競技の体験イベントやパラリンピック選手発掘プログラムにスポーツボランティアを派遣するなど、活躍の場の拡大を行いました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後のスポーツ振興を見据え、障がい者スポーツを含めたスポーツを支える人材を発掘・育成するために、引き続き、日本スポーツボランティアネットワークと連携した研修会を開催するとともに、障がい者運動会をはじめとしたイベントにスポーツボランティアを派遣するなど、活躍の場の拡大を行いました。</li> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の都市ボランティアには、市の推薦枠として、51 人を推薦しました。</li> </ul>

施策 番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	平成 30 年度までの実施等状況
7	地域による教育支援 の推進	学校の運営や教育活動を支援する学校支援ボランティア等の養成を行います。また、地域の力により様々な体験活動や世代間交流の機会を提供する放課後子ども教室の推進、地域の特徴を生かして青少年のための活動を行う青少年対策地区委員会の活動への支援を図ります。	地域学習支援課	実施中	<p>【平成 29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成講座・研修を計 106 回実施し、延べ 2,515 人が参加しました。</li> <li>・放課後子ども教室を小学校 19 校にて実施し、放課後学習教室を中学校 8 校にて実施しました。</li> <li>・青少年対策地区委員会代表者協議会を計 3 回、研修を 1 回実施するとともに補助金を交付しました。</li> </ul> <p>【平成 30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成講座・研修を計 117 回実施し、延べ 2,378 人が参加しました。</li> <li>・放課後子ども教室を小学校 19 校にて実施し、放課後学習教室を中学校 8 校にて実施しました。</li> <li>・青少年対策地区委員会代表者協議会を計 3 回、研修を 1 回実施するとともに補助金を交付しました。</li> </ul>





## 2 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI進捗状況

指標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末 (目標)	所管課
<b>基本目標1「住み続けたいまちの空間をつくる」</b>							
「定住意向のある人」の割合 (※2)	80.9%	-	84.2%	-	76.7%	83.0%	(世論調査・市民アンケート)
人口の社会増減(転入数-転出数)	+460人	+1,170人	+1,360人	+1,269人	+2,539人	+600人	
「緑の豊かさ」の満足度	82.5%	-	83.9%	-	-	85.0%	(世論調査)
<b>① 農のあるまちづくりの推進</b>							
新規就農者数	4人	5人	8人	8人	2人	6人	産業振興課
「小平産の農産物を購入するようにしている」人の割合	40.7%	-	35.4%	-	-	45.0%	(世論調査)
市内体験農園の区画数	270区画	277区画	319区画	312区画	322区画	300区画	産業振興課
援農ボランティア講座修了者数	208人	210人	216人	220人	231人	230人	産業振興課
<b>② ゆったりとした快適なまちづくりの推進</b>							
住み続けたい理由として「自然環境がよい」を挙げる人の割合 (※2)	58.1%	-	60.1%	-	59.6%	61.0%	(世論調査・市民アンケート)
小平グリーンロード等のイベント来場者数	62,600人	59,360人	67,860人	65,400人	78,300人	66,000人	産業振興課
<b>③ “住んでみたい”まちづくりと魅力の情報発信</b>							
市内の駅の一日平均乗降客数	187,066人 (平成25年度)	185,872人 (平成26年度)	189,803人 (平成27年度)	192,416人 (平成28年度)	195,071人 (平成29年度)	190,000人	
「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」会員数	0人	0人	67人	73人	76人	100人	産業振興課
観光ガイドブック等の配布部数 (※3)	5,000部	-	7,040部	12,960部	18,000部	10,000部	産業振興課
<b>基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」</b>							
地域における子育ての環境や支援への満足度	63.5%	-	-	-	74.3%	65.0%	
合計特殊出生率	1.40	1.46	1.42	1.33	-	1.45	
<b>① 結婚の希望をかなえる</b>							
出会いの創出による交流数	0件	0件	84件	84件	128件	150件	政策課
<b>② 妊娠・出産期からの支援体制の充実</b>							
(仮称)子育て世代包括支援センターの設置数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	健康推進課
<b>③ 子育て支援サービス・保育環境の充実</b>							
市内保育施設等における保育定員	6,697人	6,824人	7,017人	7,521人	7,587人	7,247人	保育課
子育てふれあい広場の利用者数	10,517人	10,491人	11,574人	10,656人	11,133人	12,100人	子育て支援課

指標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末 (目標)	所管課
学童クラブの定員数	1,220人	1,220人	1,280人	1,350人	1,410人	1,420人	子育て支援課
児童館の利用者数	109,367人	117,102人	129,999人	124,777人	130,870人	115,000人	子育て支援課
<b>④ 子育てにおける多様な支援の充実</b>							
子育て情報発信サイトのアクセス数	0件	0件	17,420件	101,798件	219,887件	150,000件	政策課
ファミリー・サポート・センターの提供会員登録数	409人	432人	445人	442人	448人	535人	家庭支援担当
<b>基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」</b>							
(3)③-4~6の事業におけるボランティア数等	244人	399人	442人	494人	552人	415人	
(内数) ③-4 公園等管理におけるアダプト制度	0人	0人	30人	45人	81人	100人	水と緑と公園課
(内数) ③-5 介護予防見守りボランティア	203人	259人	288人	332人	374人	225人	地域包括ケア推進担当
(内数) ③-6 スポーツボランティア	41人	140人	124人	117人	97人	90人	スポーツ振興担当
市民活動支援センターの登録団体数	115団体	120団体	115団体	117団体	117団体	135団体	市民協働・男女参画推進課
在宅ワークによる新規就労(内定含む)者数	0人	0人	10人	56人	102人	50人	産業振興課
<b>① 市内における“しごと”をつくる</b>							
認定創業支援事業による支援を受けた件数	74件	93件	146件	171件	242件	156件	産業振興課
市内の創業比率	1.78%	-	7.83%	-	5.25%	2.00%	産業振興課
就労支援のための講習会参加者数	0人	0人	92人	59人	49人	100人	産業振興課
<b>② 大学との連携を推進する</b>							
大学と連携した事業の数	30件	35件	43件	58件	61件	35件	市民協働・男女参画推進課
<b>③ 地域における“担い手”をつくる</b>							
自主防災組織の組織数	57組織	60組織	63組織	66組織	70組織	66組織	防災危機管理課
介護予防見守りボランティアの登録者数	203人	259人	288人	332人	374人	225人	地域包括ケア推進担当

(※1)市総合戦略において「現状」として記載している数値であり、項目によっては必ずしも平成26年度末の数値ではありません。

(※2)平成26・28年度末は世論調査(平成25・28年度実施)、平成30年度末は小平市長期総合計画策定のための市民アンケート調査(平成30年度実施)の結果の数値です。

(※3)平成26年度末(現状値)は概数であり、令和元年度末(目標値)は小平市観光まちづくり協会における取組の成果を想定しています。

**【留意事項】**

・複合的な取組の結果として表れる指標については担当課を空欄としている場合があります。

小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成27年度～令和元年度)

平成30年度 進捗状況

令和元年9月発行

編集・発行 小平市企画政策部政策課

〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1,333番地

電話番号 042(346)9503

FAX 042(346)9513

電子メール seisaku@city.kodaira.lg.jp

価格 ￥80